

岩手県内医療・介護・在宅の食連携強化のための実態調査 2024 結果の概要

1 調査概要

・目的	岩手県食形態分類標準化推進事業(令和2～4年度)において、食生活及び栄養障害の改善、疾病の再発予防を目的に、県内のすべての病院、高齢者施設が要介護高齢者の摂食嚥下機能に応じた嚥下調整食を提供できるよう標準化を進めてきた。続く本事業は、県内関係施設の嚥下調整食のレベルアップとともに、医療から福祉、地域への栄養管理情報の発進と連携、在宅要介護者が安全に食べるためのサポート等、事業目的の完全実施をめざし更なる展開を進めてきました。本調査は、これらのアウトカム評価を求め、事業成果及び今後の課題を明確にすることを目的とし実施した。																																																									
・主体	岩手県食形態分類標準化推進委員会（事務局/公益社団法人岩手県栄養士会）																																																									
・対象	岩手県内の病院、診療所、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、高齢者介護特定施設等																																																									
・調査方法	栄養士会からの調査票郵送による自記式アンケート 回答者は、各施設の管理栄養士・栄養士とし、ファックス、メールによる提出																																																									
・期日	令和6年1月～2月																																																									
・調査対象数 及び回収率	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">詳細</th> <th colspan="2">2023年</th> <th colspan="2">2024年</th> </tr> <tr> <th>対象数</th> <th>対象数</th> <th>回答数</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院</td> <td>108</td> <td>105</td> <td>92</td> <td>87.6%</td> </tr> <tr> <td>① 一般病院</td> <td>92</td> <td>90</td> <td>85</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>② 有床診療所</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>65</td> <td>62</td> <td>57</td> <td>91.9%</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>113</td> <td>113</td> <td>101</td> <td>89.4%</td> </tr> <tr> <td>地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>43</td> <td>78.2%</td> </tr> <tr> <td>特定施設入居者生活介護</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>21</td> <td>65.6%</td> </tr> <tr> <td>介護療養型医療施設・介護 医療院(再掲)</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>57.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>373</td> <td>367</td> <td>314</td> <td>85.6%</td> </tr> </tbody> </table>	詳細	2023年		2024年		対象数	対象数	回答数	回収率	病院	108	105	92	87.6%	① 一般病院	92	90	85	94.4%	② 有床診療所	16	15	7	46.7%	介護老人保健施設	65	62	57	91.9%	介護老人福祉施設	113	113	101	89.4%	地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	55	55	43	78.2%	特定施設入居者生活介護	32	32	21	65.6%	介護療養型医療施設・介護 医療院(再掲)	6	7	4	57.1%	合計	373	367	314	85.6%	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象は、令和3年度調査に回答のあった施設を基準とした。 「地域密着型介護老人福祉施設」とは、入所定員が29人以下の特別養護老人ホーム 「特定施設入居者生活介護」とは、要介護者を対象として行われる、日常生活上の世話、機能訓練、療養上の世話を行う有料老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス)、養護老人ホーム 「介護療養型医療施設」とは、比較的重度の要介護者に対し、充実した医療処置とリハビリを提供する施設 		
詳細	2023年		2024年																																																							
	対象数	対象数	回答数	回収率																																																						
病院	108	105	92	87.6%																																																						
① 一般病院	92	90	85	94.4%																																																						
② 有床診療所	16	15	7	46.7%																																																						
介護老人保健施設	65	62	57	91.9%																																																						
介護老人福祉施設	113	113	101	89.4%																																																						
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	55	55	43	78.2%																																																						
特定施設入居者生活介護	32	32	21	65.6%																																																						
介護療養型医療施設・介護 医療院(再掲)	6	7	4	57.1%																																																						
合計	373	367	314	85.6%																																																						

・施設区分別 給食実施の状況

施設区分	2023年		2024年	
	継続実施	給食を休止	継続実施	給食を休止
病院	91	2 (2.2%)	92	0 (0.0%)
①一般病院	82	1 (1.2%)	85	0 (0.0%)
②有床診療所	9	1(10.0%)	7	0 (0.0%)
介護老人保健施設	53	0 (0.0%)	57	0 (0.0%)
介護老人福祉施設	106	0 (0.0%)	101	0 (0.0%)
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	44	0 (0.0%)	43	0 (0.0%)
特定施設入居者生活介護	18	0 (0.0%)	21	0 (0.0%)
合計	312	2 (0.6%)	314	0 (0.0%)

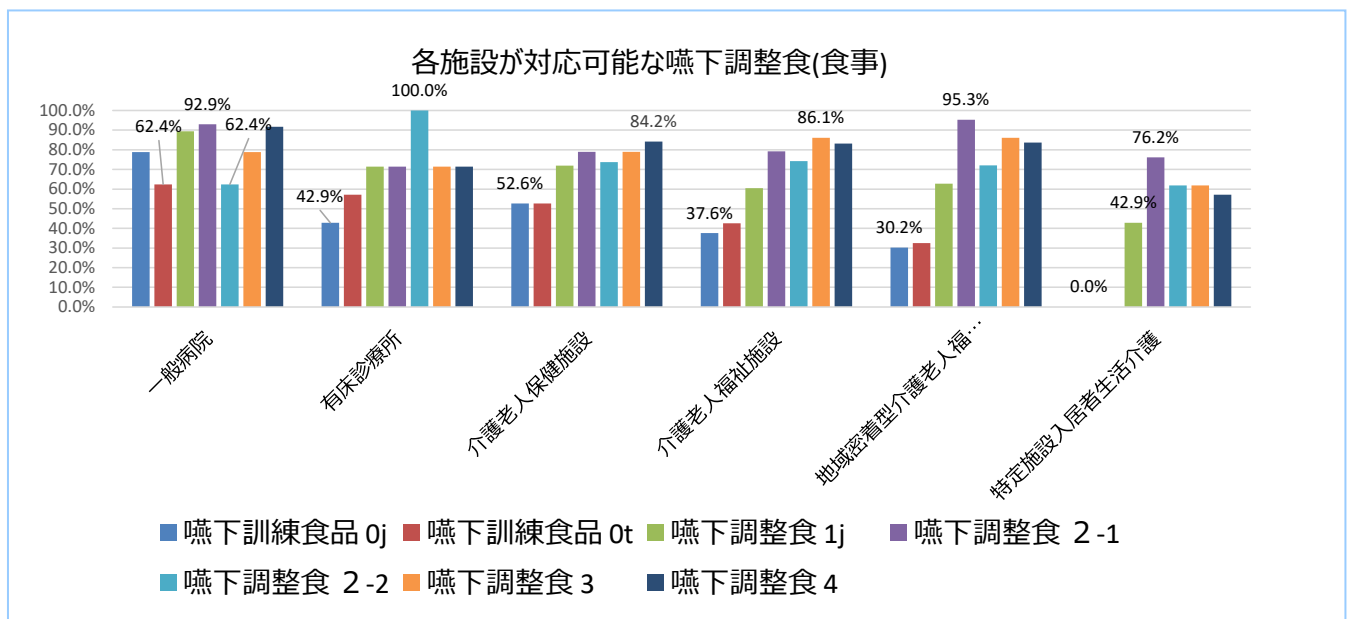
・()内は、回答のあった全施設における%を示す。

1-1 対応可能な嚥下調整食(食事)

設問/学会分類 2013 および 2021(食事)早見表に準じて、現在、貴施設が『対応可能』な食形態について回答欄に○を記入してください。対応していないものは空欄のままです。

なお、『対応可能』とは、現在入院(入所)の対象者には提供してなくても、貴施設としては対応する能力(スキル)をもっていることを意味します。

施設区分/(食事)類別	嚥下訓練食品 0j	嚥下訓練食品 0t	嚥下調整食 1j	嚥下調整食 2-1	嚥下調整食 2-2	嚥下調整食 3	嚥下調整食 4
病院	70 76.1%	57 62.0%	81 88.0%	84 91.3%	60 65.2%	72 78.3%	83 90.2%
①一般病院	67 78.8%	53 62.4%	76 89.4%	79 92.9%	53 62.4%	67 78.8%	78 91.8%
②有床診療所	3 42.9%	4 57.1%	5 71.4%	5 71.4%	7 100.0%	5 71.4%	5 71.4%
介護老人保健施設	30 52.6%	30 52.6%	41 71.9%	45 78.9%	42 73.7%	45 78.9%	48 84.2%
介護老人福祉施設	38 37.6%	43 42.6%	61 60.4%	80 79.2%	75 74.3%	87 86.1%	84 83.2%
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	13 30.2%	14 32.6%	27 62.8%	41 95.3%	31 72.1%	37 86.0%	36 83.7%
特定施設入居者生活介護	0 0.0%	0 0.0%	9 42.9%	16 76.2%	13 61.9%	13 61.9%	12 57.1%
合計	151 48.1%	144 45.9%	219 69.7%	266 84.7%	221 70.4%	254 80.9%	263 83.8%



○多様な食形態に対応しているのは一般病院である。急性期、周術期を経て入院していることから病院としては適切な栄養補給のスタートを進めている。継ぐ回復・維持、又はリハにおいては次に記載する『栄養管理情報提供書』をもって“食の連携”が深まっている。

老人保健施設及び老人保健施設で嚥下調整食の基本となる 2-2(残渣のないクリーム状)～4 の対応力が昨年に比べ 1.5 倍に増えている。利用者の咀嚼・嚥下能力に応じて適切な対応に務めていることは、本事業の成果である。

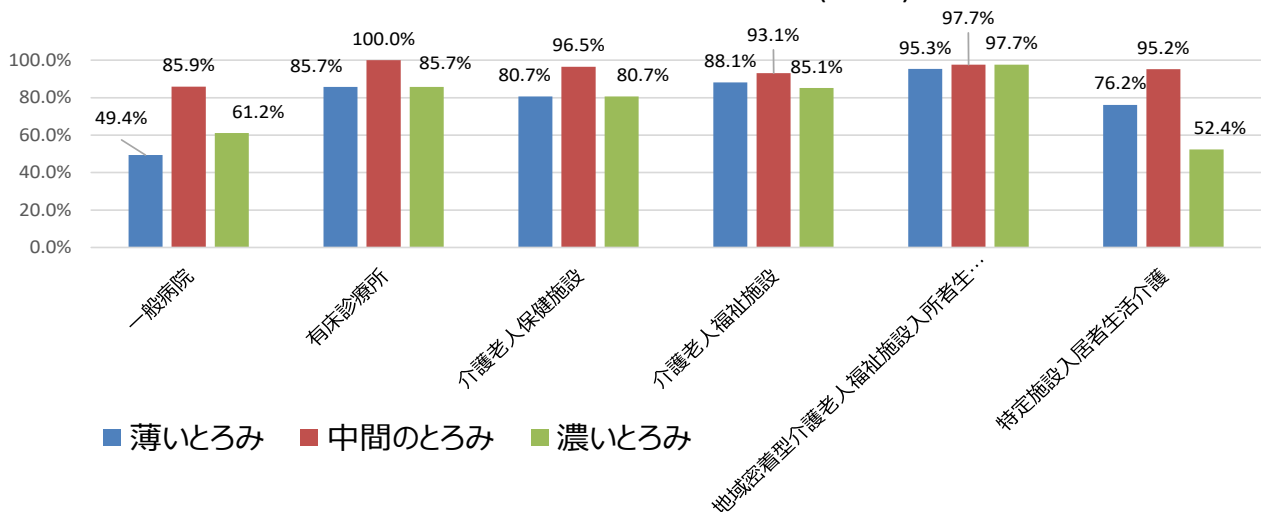
また、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模な特養ホーム)においても、嚥下訓練食により食形態を確認しながら対応している点は評価したい。特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス)、養護老人ホーム)は嚥下訓練食は対応していない。つまり、当該施設に入所する場合は、他の施設できちんと評価し適切な嚥下調整食レベルを“食の連携パスポート”として伝える必要があることが分かる。

1-2 対応可能な嚥下調整食(とろみ)

設問 学会分類 2013 および 2021(とろみ)早見表に準じて、現在、貴施設が『対応可能』な食形態について回答欄に○を記入してください。対応していないものは空欄のままでよろしいです。

施設区分/(とろみ)類別	薄いとろみ	中間のとろみ	濃いとろみ	対応していない施設
病院	48 52.2%	80 87.0%	58 63.0%	5 5.4%
① 一般病院	42 49.4%	73 85.9%	52 61.2%	5 5.9%
② 有床診療所	6 85.7%	7 100.0%	6 85.7%	0 0.0%
介護老人保健施設	46 80.7%	55 96.5%	46 80.7%	1 1.8%
介護老人福祉施設	89 88.1%	94 93.1%	86 85.1%	0 0.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	41 95.3%	42 97.7%	42 97.7%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	16 76.2%	20 95.2%	11 52.4%	0 0.0%
合計	240 76.4%	291 92.7%	243 77.4%	6 1.9%

各施設が対応可能な嚥下調整食(とろみ)



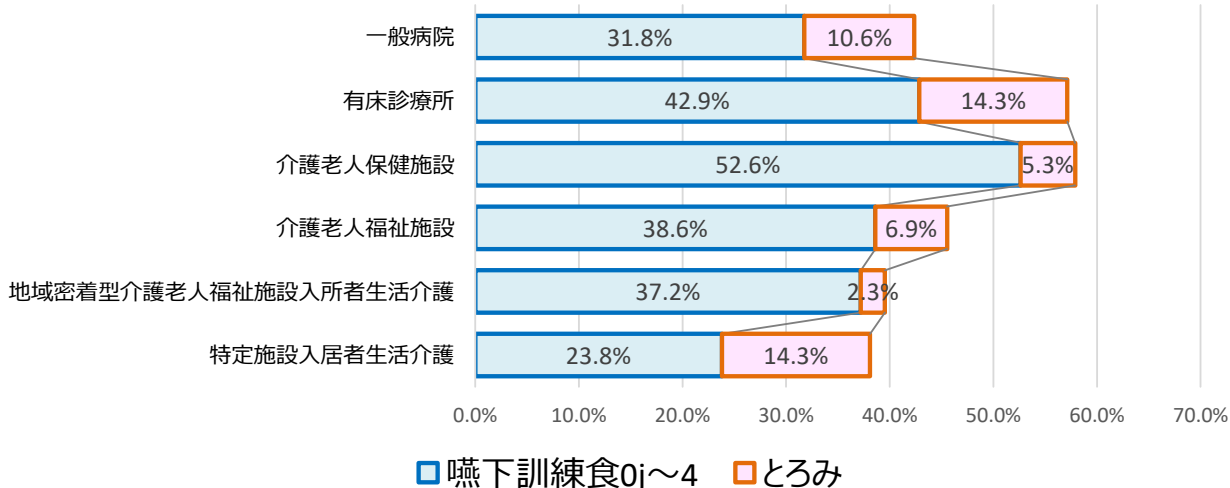
○急性期、周術期病院よりも生活の場である老人保健施設や老人福祉施設、またその他の施設の方が「とろみ」を使用する頻度が高い状況が理解できる。それだけに関係施設のスタッフは、「とろみ」剤の適切な使用を理解し、使い過ぎない(糖質、塩分が高くなる場合もある)コツも熟知する。

2-1 本事業により、自施設の嚥下食・とろみを見直し、修正した施設数(総合)

設問/ この4年間に物性を見直し修正した食形態はありますか?

施設区分/修正した施設数	((食事)を見直し、修正した施設数)	((とろみ)を見直し、修正した施設数)	((食事)・((とろみ)を見直し、修正した施設数 計)
病院	29 31.5%	10 10.9%	39 42.4%
① 一般病院	27 31.8%	9 10.6%	35 41.2%
② 有床診療所	3 42.9%	1 14.3%	4 57.1%
介護老人保健施設	30 52.6%	3 5.3%	33 57.9%
介護老人福祉施設	39 38.6%	7 6.9%	46 45.5%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	16 37.2%	1 2.3%	17 39.5%
特定施設入居者生活介護	5 23.8%	3 14.3%	8 38.1%
合計	120 38.2%	23 7.3%	143 45.5%

本事業により嚥下調整食を見直し修正した施設



2-2 そのうち(食事)を見直し、修正した施設数

施設区分/(食事)類別	嚥下訓練食品 0j	嚥下訓練食品 0t	嚥下調整食 1j	嚥下調整食 2-1	嚥下調整食 2-2	嚥下調整食 3	嚥下調整食 4
病院	6 6.5%	6 6.5%	8 8.7%	8 8.7%	8 8.7%	6 6.5%	10 10.9%
① 一般病院	4 4.7%	4 4.7%	5 5.9%	7 8.2%	7 8.2%	5 5.9%	9 10.6%
② 有床診療所	2 28.6%	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%
介護老人保健施設	4 7.0%	3 5.3%	5 8.8%	6 10.5%	7 12.3%	6 10.5%	6 10.5%
介護老人福祉施設	2 2.0%	1 1.0%	5 5.0%	11 10.9%	9 8.9%	10 9.9%	6 5.9%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2 4.7%	0 0.0%	4 9.3%	2 4.7%	1 2.3%	6 14.0%	1 2.3%
特定施設入居者生活介護	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	1 4.8%	2 9.5%	2 9.5%	2 9.5%
合計	14 4.5%	10 3.2%	24 7.6%	28 8.9%	27 8.6%	30 9.6%	25 8.0%

2-3 そのうち(とろみ)を見直し、修正した施設数

施設区分/(とろみ)類別	薄いとろみ	中間のとろみ	濃いとろみ
病院	5 5.4%	5 5.4%	7 7.6%
① 一般病院	4 4.7%	5 5.9%	6 7.1%
② 有床診療所	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%
介護老人保健施設	0 0.0%	0 0.0%	3 5.3%
介護老人福祉施設	3 3.0%	4 4.0%	6 5.9%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1 2.3%	0 0.0%	1 2.3%
特定施設入居者生活介護	0 0.0%	3 14.3%	0 0.0%
合計	9 2.9%	12 3.8%	17 5.4%

○前ページ図から、老人保健施設及び老人福祉施設が、本事業によって自施設の嚥下調整食を見直したことが分かった。その理由を訊ねると、これまでは本事業で実施したような「実際の嚥下調整食を試食する経験はなかった」こと。「他施設の管理栄養士と具体的な情報交換の機会はなかった」とのこと。

これまでも、圏域の関係施設が写真撮影した食形態で検討をすることはあったが標準化までは至っていない。

また、「とろみ」は利用者に応じて介護食の判断で食事現場で調整されていたため、その業務は介護職の仕事とする施設も多かった。本事業で、それらは介護職と「共有」、確認することを確実にすすめたい。

3-1 『栄養管理情報提供書』の発信状況

設問/ 貴施設の『栄養管理情報提供書』の発信状況について教えてください。
期間は、2023年1月～同年12月末までの12カ月間とします。

施設区分/発信件数別	0	1~50	51~100	101~150	151~200	201以上	不明・無回答	計
病院	17 18.5%	50 54.3%	7 7.6%	7 7.6%	2 2.2%	7 7.6%	2 2.2%	92 100.0%
① 一般病院	14 16.5%	46 54.1%	7 8.2%	7 8.2%	2 2.4%	7 8.2%	2 2.4%	85 100.0%
② 有床診療所	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
介護老人保健施設	13 22.8%	40 70.2%	4 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	57 100.0%
介護老人福祉施設	70 69.3%	28 27.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.0%	101 100.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	29 67.4%	14 32.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	43 100.0%
特定施設入居者生活介護	17 81.0%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%
合計	146 46.5%	136 43.3%	11 3.5%	7 2.2%	2 0.6%	7 2.2%	5 1.6%	314 100.0%

3-1-(2) 上記、発信件数1~50の内訳

施設区分/発信件数別	1~9	10~19	20~29	30~39	40~50	小計
病院	26	10	8	3	3	50
	28.3%	10.9%	8.7%	3.3%	3.3%	54.3%
①一般病院	25	9	7	3	2	46
	29.4%	10.6%	8.2%	3.5%	2.4%	54.1%
②有床診療所	1	1	1	0	1	4
	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	57.1%
介護老人保健施設	17	10	7	4	2	40
	29.8%	17.5%	12.3%	7.0%	3.5%	70.2%
介護老人福祉施設	14	5	7	2	0	28
	13.9%	5.0%	6.9%	2.0%	0.0%	27.7%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	13	1	0	0	0	14
	30.2%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	32.6%
特定施設入居者生活介護	1	3	0	0	0	4
	4.8%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	19.0%
合計	71	29	22	9	5	136
	22.6%	9.2%	7.0%	2.9%	1.6%	43.3%

3-2 施設別の発信件数

施設区分	区分	1~50	51~100	101~150	151~200	201以上	計
病院	発信件数合計	648	482	871	317	2,617	4,935
	発信施設数合計	50	7	7	2	7	73
	発信件数平均	13.0	68.9	124.4	158.5	373.9	67.6
①一般病院	発信件数合計	564	482	871	317	2,617	4,851
	発信施設数合計	46	7	7	2	7	69
	発信件数平均	12.3	68.9	124.4	158.5	373.9	70.3
②有床診療所	発信件数合計	84	0	0	0	0	84
	発信施設数合計	4	0	0	0	0	4
	発信件数平均	21.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.0
介護老人保健施設	発信件数合計	598	284	0	0	0	882
	発信施設数合計	40	4	0	0	0	44
	発信件数平均	15.0	71.0	0.0%	0.0%	0.0%	20.0
介護老人福祉施設	発信件数合計	340	0	0	0	0	340
	発信施設数合計	28	0	0	0	0	28
	発信件数平均	12.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.1
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	発信件数合計	68	0	0	0	0	68
	発信施設数合計	14	0	0	0	0	14
	発信件数平均	4.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9
特定施設入居者生活介護	発信件数合計	46	0	0	0	0	46
	発信施設数合計	4	0	0	0	0	4
	発信件数平均	11.5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.5
合計	発信件数合計	1,700	766	871	317	2,617	6,271
	発信施設数合計	136	11	7	2	7	163
	発信件数平均	12.5	69.6	124.4	158.5	373.9	38.5

3-3 発信数と平均発信数の3年間の推移（比較は3カ月間で再計算しています）

施設区分/各年次	2023年1月～12月			2022年4月～12月			2021年7月～9月	
	発信施設数	平均発信数	3カ月分平均発信数	発信施設数	平均発信数	3カ月分平均発信数	発信施設数	平均発信数
病院	73 79.3%	67.6	16.9	59 64.8%	48.8	16.3	55 56.1%	16.5
① 一般病院	69 81.2%	70.3	17.6	57 69.5%	49.1	16.4	50 56.2%	17.8
② 有床診療所	4 57.1%	21.0	5.3	2 22.2%	41.5	13.8	5 55.6%	3.0
介護老人保健施設	44 77.2%	20.0	5.0	38 71.7%	15.4	5.1	33 55.0%	6.2
介護老人福祉施設	28 27.7%	12.1	3.0	22 20.8%	7.3	2.4	14 13.3%	11.1
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	14 32.6%	4.9	1.2	4 9.1%	8.0	2.7	4 8.7%	3.0
特定施設入居者生活介護	4 19.0%	11.5	2.9	3 16.7%	1.7	5.7	2 10.5%	3.5
合計	163 51.9%	38.5	9.6	126 40.4%	29.1	9.7	108 32.9%	11.9

発信先内訳

	一般病院	有床診療所	介護老人保健施設 (老健施設)	介護老人福祉施設 (特養ホーム)	その他特定施設	その他・不明	合計
病院	2,087 42.3%	16 0.3%	857 17.4%	613 12.4%	684 13.9%	678 13.7%	4,935 100.0%
①一般病院	2,083 42.9%	16 0.3%	806 16.6%	610 12.6%	658 13.6%	678 14.0%	4,851 100.0%
②有床診療所	4 4.8%	0 0.0%	51 60.7%	3 3.6%	26 31.0%	0 0.0%	84 100.0%
介護老人保健施設	166 18.8%	21 2.4%	20 2.3%	378 42.9%	224 25.4%	73 8.3%	882 100.0%
介護老人福祉施設	326 95.9%	0 0.0%	7 2.1%	6 1.8%	1 0.3%	0 0.0%	340 100.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	58 85.3%	0 0.0%	3 4.4%	7 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	68 100.0%
特定施設入居者生活介護	21 45.7%	14 30.4%	3 6.5%	7 15.2%	1 2.2%	0 0.0%	46 100.0%
合計	2,658 42.4%	51 0.8%	890 14.2%	1,011 16.1%	910 14.5%	751 12.0%	6,271 100.0%

○この3年間で、「栄養管理情報提供書」の発信数は着実に増えていることがわかる。今年度は、一昨年度の1.5倍に増加している。発信数の県内ベスト3は、トップが岩手県立中部病院886件、2位はいわてリハビリセンター410件、3位は盛岡友愛病院345件であり、転院・退院時には『栄養管理状況報告書』により次の施設に、自施設での嚥下調整食と栄養管理状況を伝えている。最近では、転院前に「この情報が欲しい」という依頼も増え、対応している。

ただ、発信している施設が固定化し、参加施設数が期待より伸びていない現状もある。今後、医療圏(広域振興局)ごとに管理栄養士間の顔の見える関係体制をつくり、発信交流をすすめたい。

3-5 発信しない理由

設問/ 発信件数が0、又は少ない(死亡を除く退院患者及び退所者の1/10以下)の施設に伺います。
件数が伸びない理由は何ですか？

施設区分 (n=219 複数回答あり)	a 発信 する必要 性が分 からない	b 他の 栄養指 導業務 等で時 間がない	c 記入 の仕方 がよく 分かん ない	d 管理 栄養士・ 栄養士 の同意 が得ら れない	e 多職 種間 で情 報を共 有でき てい ない	f 上司 や組織 内の理 解が得 られな い	g 発信 しても 管理 栄養士 の評 価につ ながら ない	h その 他(自由 記載)	無回答
病院	0 0.0%	28 49.1%	1 1.8%	0 0.0%	11 19.3%	0 0.0%	5 8.8%	31 54.4%	0 0.0%
①一般病院	0 0.0%	26 50.0%	1 1.9%	0 0.0%	11 21.2%	0 0.0%	5 9.6%	28 53.8%	0 0.0%
②有床診療所	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%
介護老人保健施設	0 0.0%	5 19.2%	2 7.7%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	22 84.6%	0 0.0%
介護老人福祉施設	2 2.4%	7 8.4%	4 4.8%	1 1.2%	5 6.0%	1 1.2%	0 0.0%	67 80.7%	2 2.4%
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	3 8.6%	5 14.3%	2 5.7%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	24 68.6%	3 8.6%
特定施設入居者生活介護	2 11.1%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	14 77.8%	1 5.6%
合計	7 3.2%	46 21.0%	11 5.0%	2 0.9%	19 8.7%	2 0.9%	6 2.7%	158 72.1%	6 2.7%

3-5-(2) 前ページ「h その他(自由記載)」の内訳

施設区分 (n=158 複数回答あり)	h① 転移者 がいない、 対象者が いない	h② 依頼 がない、 要望 ある時 だけ 対応	h③ 電話 連絡 で済ま せてい る	h④ 看護 サマ リー等 で発信 されて いる	H⑤ その他
病院	8 14.0%	5 8.8%	1 1.8%	1 1.8%	10 17.5%
①一般病院	7 13.5%	4 7.7%	1 1.9%	1 1.9%	9 17.3%
②有床診療所	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
介護老人保健施設	9 34.6%	0 0.0%	2 7.7%	4 15.4%	4 15.4%
介護老人福祉施設	41 49.4%	2 2.4%	3 3.6%	11 13.3%	7 8.4%
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	20 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	3 8.6%
特定施設入居者生活介護	3 16.7%	0 0.0%	1 5.6%	2 11.1%	7 38.9%
合計	81 37.0%	7 3.2%	7 3.2%	19 8.7%	31 14.2%

○発信しない理由の第一位が「他の栄養指導業務等で時間がない」平均 21.0 である。特に、一般病院においては50%となっている。診療報酬で令和2年から「栄養情報提供加算 50 点」を新設し、6 年度改正では「栄養情報連携料 70 点」として、医療と介護における栄養情報の連携が求められている。加算収入増だけではなく「多職種間で情報を共有」をすることで患者に有意な傷病改善につながる食事サービスが実施でき、「管理栄養士の評価」向上にもつながることを知ってほしい。

4-1 『栄養管理情報提供書』の受理状況

設問/ 貴施設の『栄養管理情報提供書』の受信状況について教えてください。
 期間は、2023年1月～同年12月末までの12カ月間とします。

施設区分/受信件数別	0	1～50	51～100	101～150	151～200	201以上	不明・無回答	計
病院	13	64	6	2	1	1	5	92
	14.1%	69.6%	6.5%	2.2%	1.1%	1.1%	5.4%	100.0%
①一般病院	10	60	6	2	1	1	5	85
	11.8%	70.6%	7.1%	2.4%	1.2%	1.2%	5.9%	100.0%
②有床診療所	3	4	0	0	0	0	0	7
	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
介護老人保健施設	5	51	0	0	0	0	1	57
	8.8%	89.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
介護老人福祉施設	11	88	1	0	0	0	1	101
	10.9%	87.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	100.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	9	33	0	0	0	0	1	43
	20.9%	76.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	100.0%
特定施設入居者生活介護	5	16	0	0	0	0	0	21
	23.8%	76.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	43	252	7	2	1	1	8	314
	13.7%	80.3%	2.2%	0.6%	0.3%	0.3%	2.5%	100.0%

4-1-(2) 『栄養管理情報提供書』の受理件数1～50の内訳

施設区分/受信件数別	1～9	10～19	20～29	30～39	40～50
病院	31	21	4	5	3
	33.7%	22.8%	4.3%	5.4%	3.3%
①一般病院	28	20	4	5	3
	32.9%	23.5%	4.7%	5.9%	3.5%
②有床診療所	3	1	0	0	0
	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
介護老人保健施設	30	14	5	2	0
	52.6%	24.6%	8.8%	3.5%	0.0%
介護老人福祉施設	61	19	7	0	1
	60.4%	18.8%	6.9%	0.0%	1.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	31	2	0	0	0
	72.1%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
特定施設入居者生活介護	14	2	0	0	0
	66.7%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	167	58	16	7	4
	53.2%	18.5%	5.1%	2.2%	1.3%

4-2 受理数と平均受理数の3年間の推移（比較は3カ月間で再計算しています）

施設区分/各年次	2023年1月～12月			2022年4月～12月			2021年7月～9月	
	受理施設数	平均受理数	3カ月分平均受理数	受理施設数	平均受理数	3カ月分平均受理数	発信施設数	平均受理数
病院	74 80.4%	25.7	6.4	70 76.9%	12.5	4.2	55 56.1%	6.3
① 一般病院	70 82.4%	26.7	6.7	67 81.7%	12.9	4.3	52 58.4%	6.6
② 有床診療所	4 57.1%	8.0	2.0	3 33.3%	3.3	1.1	3 33.3%	1.3
介護老人保健施設	51 89.5%	10.1	2.5	45 84.9%	7.1	2.4	42 70.0%	3.8
介護老人福祉施設	89 88.1%	9.0	2.3	87 82.1%	6.4	2.1	58 55.2%	5.3
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	33 76.7%	3.0	0.8	22 50.0%	2.9	1.0	13 28.3%	2.5
特定施設入居者生活介護	16 76.2%	4.3	1.1	12 66.7%	2.5	0.8	3 15.8%	1.3
合計	263 83.8%	12.9	3.2	236 75.6%	7.8	2.6	171 52.1%	5.0

○発信された『栄養管理情報提供書』がどこに届いているかを把握したのが、上表である。病院間は当然のこと、今年度は老人保健施設が+6件、老人福祉施設が+27件、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特養)+27件及び特定施設入居者生活介護が+10件(この数値は上図3カ月ものです。実施数は×4になります)と大幅に増加している。

例えば、病院から発信された情報提供書は、即時で適切な栄養管理、嚥下調整食を提供できるメリットだけでなく、受理した施設の管理栄養士の専門知識のボトムアップ等の人材育成につながり、連携の機会を誕生させている。

次の項でその詳細をまとめている。

4-3 発信元内訳

施設区分/受理施設	一般病院	有床診療所	介護老人保健施設 (老健施設)	介護老人福祉施設 (特養ホーム)	その他特定施設	その他・不明	合計
病院	1,610 84.8%	10 0.5%	124 6.5%	141 7.4%	14 0.7%	0 0.0%	1,899 100.0%
①一般病院	1,600 85.7%	10 0.5%	103 5.5%	140 7.5%	14 0.7%	0 0.0%	1,867 100.0%
②有床診療所	10 31.3%	0 0.0%	21 65.6%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	32 100.0%
介護老人保健施設	439 85.1%	52 10.1%	9 1.7%	5 1.0%	1 0.2%	10 1.9%	516 100.0%
介護老人福祉施設	571 71.2%	6 0.7%	205 25.6%	14 1.7%	6 0.7%	0 0.0%	802 100.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	73 73.0%	0 0.0%	18 18.0%	2 2.0%	1 1.0%	6 6.0%	100 100.0%
特定施設入居者生活介護	58 85.3%	3 4.4%	7 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	68 100.0%
合計	2,751 81.3%	71 2.1%	363 10.7%	162 4.8%	22 0.6%	16 0.5%	3,385 100.0%

4-4 『栄養管理情報提供書』を受理した効果

設問/『栄養管理情報提供書』を受理した施設に伺います。

受理して良かったことは何ですか。

施設区分 (n=272 重複回答あり)	a 摂食・ 嚥下の状 況がよく分 かった	b 栄養摂 取の全体 が分かった	c 入院・入 所後の給 食が迅速 に対応でき た	d 調理へ の指示説 明に役立っ た	e 経腸栄 養剤や補 助食品等 の情報が 役立った	f 投薬の 情報が役 立った	g 発信元 の管理栄 養士とそ の後も情 報交換が できた	h その 他(自由記 載)	無回 答
病院	61 76.3%	57 71.3%	49 61.3%	14 17.5%	45 56.3%	4 5.0%	9 11.3%	6 7.5%	4 5.0%
①一般病院	56 74.7%	52 69.3%	45 60.0%	13 17.3%	43 57.3%	3 4.0%	8 10.7%	5 6.7%	4 5.3%
②有床診療所	5 100.0%	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
介護老人保健施設	43 82.7%	45 86.5%	35 67.3%	17 32.7%	31 59.6%	2 3.8%	9 17.3%	3 5.8%	0 0.0%
介護老人福祉施設	77 85.6%	76 84.4%	68 75.6%	31 34.4%	45 50.0%	7 7.8%	11 12.2%	4 4.4%	1 1.1%
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	28 84.8%	27 81.8%	25 75.8%	6 18.2%	15 45.5%	1 3.0%	3 9.1%	3 9.1%	2 6.1%
特定施設入居者生活介護	13 76.5%	15 88.2%	12 70.6%	6 35.3%	5 29.4%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%
合計	222 81.6%	220 80.9%	189 69.5%	74 27.2%	141 51.8%	15 5.5%	34 12.5%	17 6.3%	7 2.6%

受理して良かった、役だった内容（自由記載の内訳）（重複しているものはまとめました）

病院	○直近の状況が分かってよい。○アレルギー、嗜好の対応について役立った。○患者の状態や嗜好に応じた食事内容についての情報があると、食事調整等に役立っている。○アレルギーの対応や患者本人の食事への関心について書かれているものもあり、参考になった。○アレルギー食の提供情報 ○補助食品、経腸栄養剤は施設ごと使用しているものが違うので、Dr への情報提供時に役立つと思う。○入院時は Dr からの食事箋を基に食事を提供するが、その後、変更する場合に非常に役に立つと思う。
介護老人保健施設	○発信者が明確なので連絡しやすく、不明な点をすぐ確認できた。事前情報、看護サマリー、栄養管理情報提供書の内容が違うことがたまにある。その際、管理栄養士が発信した情報であることで多職種に信頼してもらえた。○経腸栄養剤の半固形流動食に変更した情報があり、逆流の発生、誤嚥のリスクを回避することができました。○非常に役に立つのでまいのですが全然なくて残念です。
介護老人福祉施設	○退院後の対応がスムーズになっている。○看護師等からの情報だけでは、必要なところがわからないところもあり、必要である。○退院後の食事を決定するときに、書面があると、他職種にも納得して食事内容を理解してもらえる。○再入所時、栄養連携加算算定の添付資料とするため ○体重の推移を記載していただいたことも役立ちました。○身長、体重を知ることができ、身体状況の把握に役立った。○栄養量や食事形態などの他に入院中の経過が詳しく記載されており、そこから食が進まない際の対応を検討することができた。
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	○施設では摂食嚥下機能の専門的な検査ができないが、病院では検査の結果や訓練後の経過、高カロリーのアドバイスの記載等があるため、病院の情報は助かっている。○退院者がいる場合、食事形態変更など状態が変わっているため、前情報をいただけるのは助かっていますが、発信元（主に病院）で負担になっているのではないかと考えています。

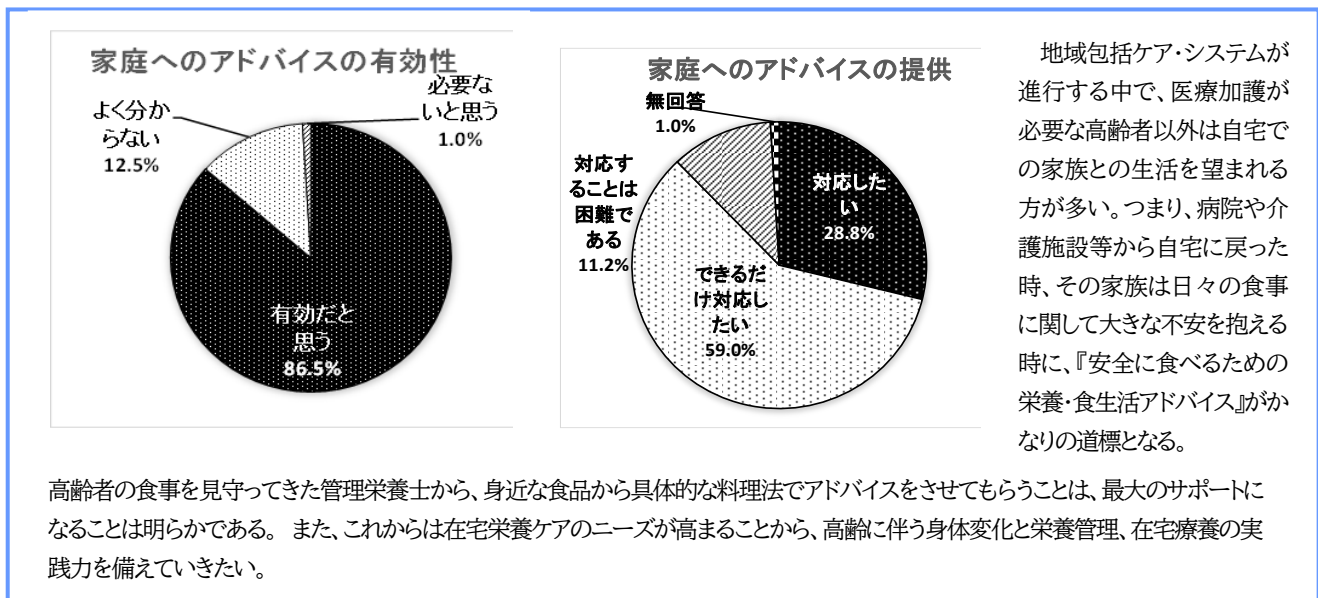
5-1『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』の発信状況

設問/「嚥下調整食 在宅栄養ケア～岩手県ガイドライン～」(P31)に掲載している『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』の発信状況について教えてください。

期間は、2023年1月～同年12月末までとします。貴施設の特定の様式で発信している場合もこれに含まれます。

施設区分/発信件数別	0	1～9	10～19	20～29	30～39	40以上	不明・無回答	計
病院	65	19	1	1	1	2	3	92
	70.7%	20.7%	1.1%	1.1%	1.1%	2.2%	3.3%	100.0%
①一般病院	61	16	1	1	1	2	3	85
	71.8%	18.8%	1.2%	1.2%	1.2%	2.4%	3.5%	100.0%
②有床診療所	4	3	0	0	0	0	0	7
	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
介護老人保健施設	29	13	3	5	2	4	1	57
	50.9%	22.8%	5.3%	8.8%	3.5%	7.1%	1.8%	100.0%
介護老人福祉施設	90	5	0	0	0	0	6	101
	89.1%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	100.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	40	1	0	0	0	0	2	43
	93.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	100.0%
特定施設入居者生活介護	19	0	1	0	0	0	1	21
	90.5%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%
合計	243	38	5	6	3	6	13	314
	77.4%	12.1%	1.6%	1.9%	1.0%	1.9%	4.1%	100.0%

[参考]昨年度のアンケート結果より



地域包括ケア・システムが進行する中で、医療加護が必要な高齢者以外は自宅での家族との生活を望まれる方が多い。つまり、病院や介護施設等から自宅に戻った時、その家族は日々の食事に関して大きな不安を抱える時に、『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』がかなりの道標となる。

○昨年度の調査結果から、自宅に戻る患者や利用者の健康サポートとして、各施設管理栄養士から『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』の有効性に共感し、必要時には87.8%の施設が提供したいとの回答があったが、今年度は実際に取り組んでいる施設は全体の22.6%であった。

在宅に戻る機会が多い、老人保健施設ではかなりの件数をあげ、こまやかな対応を進めていることも確認でき、利用者から感謝されていることを伺います。また、アドバイス表を渡す時に、「お粥の炊き方」や「食べやすい介護食の作り方」等、分かりやすいリーフレットも渡して、「いつでも相談してください」と声掛けしていることは、低栄養等のリスクから誰一人も取り残さない地域包括支援のスタートといえる。

5-2 『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』の発信先

発信先・提供相手	患者・利用者本人及び家族					その他、地域ケアマネ等				
	1~19	20~49	50~99	100以上	計	1~19	20~49	50~99	100以上	計
病院	19	2	1	0	22	8	0	0	0	8
	86.4%	9.1%	4.5%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
①一般病院	16	2	1	0	19	8	0	0	0	8
	84.2%	10.5%	5.3%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
②有床診療所	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護老人保健施設	15	7	2	1	25	5	1	0	1	7
	60.0%	28.0%	8.0%	4.0%	100.0%	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	100.0%
介護老人福祉施設	4	0	0	0	4	3	0	0	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特定施設入居者生活介護	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	40	9	3	1	53	16	1	0	1	18
	75.5%	17.0%	5.7%	1.9%	100.0%	88.9%	5.6%	0.0%	5.6%	100.0%

5-3 『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』に添付した資料

設問/ 『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』を発信する時に、**相手の理解が深まるような資料等を添付**しましたか？ 添付した場合、どのようなものを提示したか教えてください。(複数回答あり)

施設区分	添付有	a 学会分類2021早見表と内容説明書	b おかゆの作り方のレシピ	c 簡単につくれる介護食レシピ	d カロリーアップのためのメニュー	e 市販されている介護食の紹介	f 食べさせる時の姿勢、介助ポイント	g その他(自由記載)	無回答
		病院	23	8	8	13	9	19	
	46.9%	34.8%	34.8%	56.5%	39.1%	82.6%	52.2%	13.0%	0.0%
①一般病院	20	7	7	12	8	17	10	3	0
	40.8%	35.0%	35.0%	60.0%	40.0%	85.0%	50.0%	15.0%	0.0%
②有床診療所	3	1	1	1	1	2	2	0	0
	6.1%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%
介護老人保健施設	18	2	2	4	6	14	5	5	0
	36.7%	11.1%	11.1%	22.2%	33.3%	77.8%	27.8%	27.8%	0.0%
介護老人福祉施設	7	2	0	3	2	3	0	2	0
	14.3%	28.6%	0.0%	42.9%	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特定施設入居者生活介護	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
合計	49	12	10	20	17	36	18	10	0
	100.0%	24.5%	20.4%	40.8%	34.7%	73.5%	36.7%	20.4%	0.0%

添付して差し上げた資料（自由記載の内訳）（重複しているものはまとめました）

病院	○介護食の通販雑誌等を使用（写真付きで分かりやすいため） ○食事についての注意点（主食：ご飯・麺類について、とろみについて、誤嚥しやすい食べ物） ○とろみ剤の使い方について（実際に冷たいお茶や味噌汁などを使用して実演）
介護老人保健施設	○栄養補助食品の種類 ○腎臓病食についての資料 ○在宅に帰られる方が、常食基本食の提供の方でしたので、今回は入所時の食事内容と経過についてお知らせしました。 ○実際に施設で提供している食事の写真と献立（特にソフト、ペースト食）を食事内容が以前と変わった場合やイメージがわからないと話すご家族へ情報提供書と共に渡しています。 ○糖尿病の食事療法。
介護老人福祉施設	○スベーカーゼ等を使用した「離水しないお粥」 ○短期入所のご家族様に、トロミ剤の使い方、販売場所、サンプルなど提供し、自宅でも安全に摂取して頂けるように相談員を介し、タブレットで動画作成し説明した。

添付するテキストに盛り込んで欲しい内容・自由記載の内容（重複しているものはまとめました）

病院	○介護レシピ、市販されている介護食の紹介、カロリーアップの為のメニュー、とろみ剤の使用法、食べさせる時の姿勢・介助ポイント ○エネルギーやタンパク質を摂れるおやつを紹介があるといい。○市販されている栄養補助食品の紹介 ○栄養補助食品だけではなく、スーパーで手軽に買えるものだとより紹介しやすい。 ○水分補給のゼリーを手作りするレシピ ○市販品で、介護食として、そのまま使用でき、朝昼夕の献立例があると助かります。 ○ミキサー・フードプロセッサーがない場合の形態加工代替方法や比較的安価にできる介護食レシピが載っていると助かります。 ○高齢者にとって食べやすいメニュー、文字サイズが大きいこと、文字数が多くないこと。
介護老人保健施設	○冊子で使用する食材はどこで買えるのか（スーパーで買える、ドラッグストアで買える、冷蔵コーナーにある、介護食コーナーにある等） ○「安全に食べるための栄養・食生活アドバイス」で、作成のポイントがあると記載しやすいと思います。食事に関するアドバイスの中で該当しない部分があり、空白のまま提供してよいか迷うため、情報提供書のように有り無しの欄があればよい。 ○腎臓病食や糖尿病食、減塩食についての資料があると良い。○嚥下調整食1jのレシピ資料も加えてほしい。 ○食事の献立例(3～7日程度) ○ジェルの紹介 ○ユニバーサルデザインフード等の区分表や市販の物のマークの見方 ○自助食器や自助スプーン・フォーク・箸など ○現在は発信件数ゼロですが、在宅栄養ケアの一助となれるように今後少なくとも発信していけるように努力したいです。
介護老人福祉施設	○市販で普及し始めている「完調品」を食材として使用し、少し手を加えるだけで作れるレシピ ○簡単につくれて、カロリーアップができるメニュー ○献立例、口腔ケア、食事量が少ない時のための補食など。 ○刻み+あんかけ等でも対応が効か等の補足を付け加えて ○とろみの濃度の違いや作り方、むせやすい食品について ○大きな文字でゆったりと書かれていると見やすい。○これまでの内容に満足している。
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	○栄養あげあげ術の内容を増やしてほしい（在宅向けの情報） ○間食の項目があるとなお分かりやすい。 ○献立例があるとわかりやすい。 ○在宅へ復帰する方がいないため、入所されている利用者様へ向けて旬の食べ物の効能や月に1回献立・栄養情報、他季節に応じて水分摂取などについて掲示しております。掲示用の資料もあるといい。

岩手県食形態分類標準化推進委員会
 【運営事務局】公益社団法人岩手県栄養士会 会長 澤口 眞規子
 mail:i-dietitian1@iwate-eiyoshikai.or.jp
 TEL:019-625-3706 FAX:019-625-3707